


# キャリアアッププログラム2016（3学期）講座シラバス

【ベーシック科目】

科目名	証券投資理論の基礎	
副題	証券投資の判断基準を学びたいあなたのために	
受講対象者	証券投資論について基礎から学びたい方や専門書に出てくる専門用語を実際にどのように使うかを学びたい方。	
講座概要	1990年代後半の金融ビッグバンから始まり、最近のNISA口座の開始などこれまでは銀行などの間接金融に預けていた資産を証券会社を通して直接金融へ流す方向に向かっていきます。この流れの一環として家計や企業の証券投資による資産運用がありますが、資産運用をする際にはリスクとリターンの関係や運用パフォーマンスを測る方法を知る必要が生じます。本講座では最も純粋な基準である理論的な方法を講義します。なお、本講座は証券投資の原理を解説するものであって、本講座を受けても必ず儲かる投資方法が見つかる訳ではありません。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 証券投資論に関する書籍に書いてある内容の一部が理解できるようになる。</li> <li>2. 実際のデータを利用して、推定が行えるようになる。</li> </ol>	
授業計画 および開講日	第1回 1/17(火)	証券投資理論に必要な確率・統計
	第2回 1/24(火)	分散投資とポートフォリオ理論
	第3回 1/31(火)	CAPM（資本資産評価モデル）
	第4回 2/7(火)	効率的市場仮説とアセット・アロケーション
	第5回 2/14(火)	パフォーマンスの評価方法
	第6回 2/21(火)	株式の価格評価方法
授業の形式	座学	
授業の進め方	レクチャー中心	
教材などの追加負担	教材費の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	基礎講座なので、基本を理解してもらえようような講義を心がけたいと思います。可能な限り実際のデータを用いた結果を提示しようと思います。2学期開講の「確率・統計の基礎」を受けられると理解が深まります。	
講師紹介	 <p><b>得津康義（とくつ やすよし） 経済学部 経済学科 教授</b></p> <p>1972年広島県生まれ。専門は計量経済学。2004年3月広島大学社会科学研究所大学院博士後期課程修了、博士（経済学）。2005年4月より広島経済大学講師、2009年より准教授。計量経済学のうち、とくに金融市場データの時系列分析を中心に研究。</p>	